

- WWWの形式(階層構造)を体験する。
- HTMLとCSSとJavaScriptの目的を区別する。

HTMLの論理

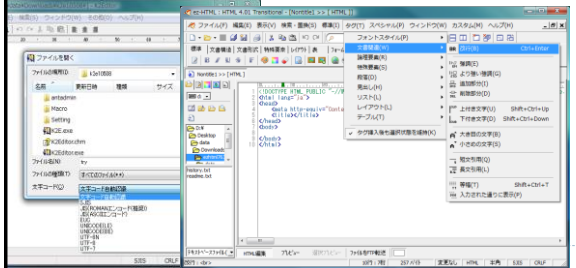
構造を重視する

WWW (Web)ページの構造をみる

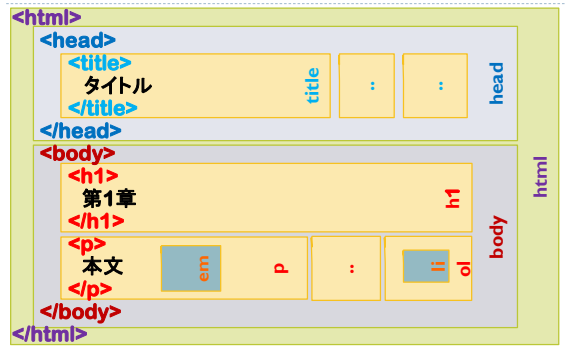
- ▶ 出席番号フォルダの中のindex.htmlをダブルクリック。
 - ▶ 通常、Webページ用ファイルの拡張子は、htmlまたはhtmである。
- ▶ ブラウザで表示 ⇒ ソース。
- ▶ エディタ(メモ帳等)で編集 ⇒ 保存(Ctrl+s)。
- ▶ ブラウザで、最新の情報に更新(F5)。
 - ▶ 「エディタによる編集とブラウザによる表示や動作の確認」の繰り返しで、単純なWebページをつくることができる。

WWWページの記述

- ▶ HTMLという言葉(ルール)のテキストファイルである。
- ▶ 文字コードがShift_JISであれば、メモ帳で見ることも作ることができる。
- ▶ エディタと分類されるソフトを使えば他の文字コードで読み書き可能。



HTMLファイルの木構造と親要素・子要素



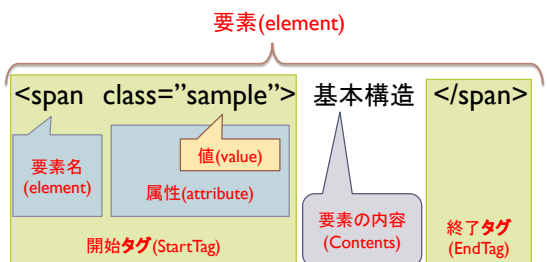
HTMLのタグに慣れる

- ▶ 基本は **<タグ>文字...文字</タグ>**
 - ▶ **タグ**は、大文字でも小文字でもよい。全角はだめ。
 - ▶ **titleタグ** <title> </title>
 - ▶ 本体を表す**bodyタグ** <body> </body>
 - ▶ 段落を表す**pタグ** <p> </p>
 - ▶ **フォルダ**は(※ではなく) **!**(スラッシュ)で区切る。
- ▶ 例外的に終了タグ**</タグ>**が不要
 - ▶ **brタグ**(改行)

 - ▶ **hrタグ**(水平線) <hr>
 - ▶ **imgタグ**(画像の表示)

HTMLの文法 (基本構文)

- ▶ Hyper-text Markup Language



HTMLの属性に慣れる

▶ 属性を指定してみよう

- ▶ 属性を指定してみよう。
 - ▶ bgcolor="" align="" bgcolor="#RRGGBB"
 - ▶ href="ファイル名(拡張子も付けること)"
 - ▶ aタグ(リンク) 1ページへ
次の人

left right
center

各色16進数2ケタ
(8bit)

▶ 終了タグがない例

- ▶ imgタグ(画像)

WWWページ作成上の基本的な留意点

HTMLの仕様において戸惑いやすい点

- ▶ 作成時に改行しても無視される。
 - ▶ 改行には
が必要。
- ▶ 半角空白を続けても、2つ目から無視される。
 - ▶ 全角空白は、無視されない(日本語1文字として扱われる)。

意識しておくべきこと

- ▶ Webページの横幅は固定ではないので、ウィンドウの横幅に依存しない作りが必要。
- ▶ プレゼン資料(スライド)とは違い、補足説明なしで通じる文章でなければならない。
 - ▶ 誤解を招きにくい丁寧な文章を。

CSS(Cascading Style Sheets)の基礎

- ▶ 文書の構造と体裁を分離させるためにCSSが策定された。
- ▶ タグで文書構造を表現し、体裁(見栄え・デザイン)はCSSで表現すべき。

① 外部のCSSファイルを読み込むための記述

- ▶ Head部に、
<link rel="stylesheet" href="ファイル名.css" type="text/css">

② HTMLファイル内にまとめて設定する

- ▶ Head部に、
<style type="text/css"> --- </style>

③ タグに直接スタイルを設定する

- ▶ <要素名 style="font-size:30pt;color:red;">本文</要素名>

JavaScript(インタプリタ型プログラミング言語)の基礎

- ▶ ブラウザに表示された画面に動きをつけることができる。
 - ▶ マウスカーソルでメニューを開かせる。
 - ▶ ボタンのクリックで動かす。
 - ▶ その他の様々な動き...
- ▶ Webページ上にアプリケーションを作ることができる。
- ▶ サーバーと通信して情報の送受信ができる。

① 外部のJavaScriptファイルを読み込むための記述

- ▶ Head部に、
<link rel="stylesheet" href="ファイル名.css" type="text/css">

② HTMLファイル内にまとめて設定する

- ▶ Head部やBody部に、
<script> --- </script>